

Stage Up

2000年

11月号

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No.94



写真：「秋盛り」半田文男さん

- もくじ**
- 2** 特集 かわさき市民「第九」コンサート
 - 4** 生涯学習ア・ラ・カルト
 - 6** ぐるーぷ BOX / イベントパーク
 - 8** 暮らし百景 ステージ・アップ歌壇 / まち・ひと・多面体

特集

2000かわさき市民「第九」コンサート

師走の街にひびく「歡喜の歌」 市民の手で感動空間つくる

師走になると全国津々浦々でベートーヴェンの「交響曲第九番・合唱付」が聞こえてきます。「第九」を聴いて一年を締めくくり、新しい年を迎えるという人も少なくない昨今、年末の風物詩としてすっかり定着したようです。

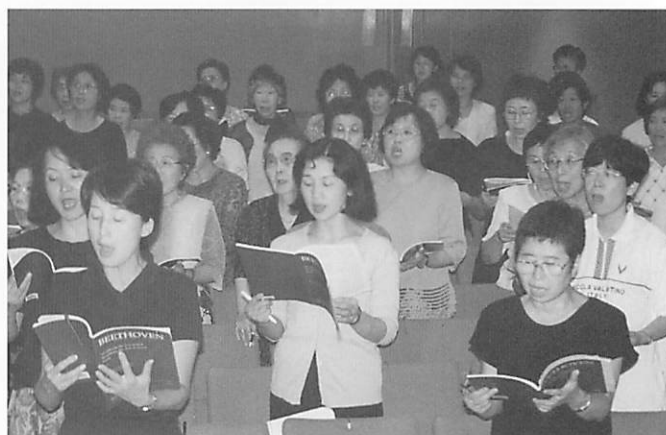
川崎でも毎年、市民オーケストラと市民合唱団で構成された「かわさき市民『第九』コンサート」(主催は実行委員会・川崎市文化財団・川崎市)が、川崎市教育文化会館で行われ、今年で12回目を迎えます。ドイツの詩人シラー作の「歡喜に寄す」を高らかに歌い、一期一会の感動を作り出しています。オーケストラは、「川崎市民交響楽団」「高津市民オーケストラ」「宮前フィルハーモニー交響楽団」「麻生フィルハーモニー管弦楽団」の市民楽団が毎年交代で担当しています。また、合唱団は公募で集まった20代から80代の市民180人(うち初心者40人)で、8月下旬から毎週中原市民館に集まり練習に励んでいます。初めて参加した方、毎年参加している方から「第九」に寄せる思いや、その魅力について伺いました。

合唱団員の声

●練習にはいつも一番乗り、最年長の島田澄江さん(82)
一昨年、「第九」のコンサートを聴いて、オーケストラとの共演のすばらしさに感動し、昨年初めて参加しました。合唱経験はありますが、ドイツ語の歌詞は初めて。発音と暗譜に苦労しましたが、舞台上で歌った時は本当に楽しかったです。その楽しさをもう一度味わいたいと今年も参加しました。毎晩練習用カセットを聞いてがんばっています。

●8回目の参加、井口尚美さん(30代)
回を重ねるうちに顔なじみが増えとても楽しいです。「第九」は何度歌っても感動します。かわさき市民「第九」では合唱指導の先生も、演奏するオーケストラも毎年変わるのが特徴です。それがいいですね。さまざまな注意を書き込んだ楽譜は私の宝です。

●初参加の中川尚樹さん(25)
歌うことが大好きで、聖歌隊として歌ったこともあります。友人のお母さんが、今回演奏を担当する高津オーケストラの団員で、その人が誘ってくれました。ドイツ語で歌えるか不安ですが、周りの人に助けられしがみついで歌っています。この曲を歌うことができたら、自分の財産になると思うので挫折しないようがんばります。



心を合わせて練習に励む合唱団員

●親子で参加の普勝美代子さん(76)と隆さん(46)
かわさき市民「第九」には初めて参加します。「第九」は他の団で歌ったことがあります、なんといっても心がひとつになる一体感を味わえるのがいいですね。合唱指導の上江先生の指導は楽しくわかりやすく、2時間の練習があつという間に過ぎてしまいます。今回は息子もオーケストラで演奏するので、家族3人の共演です。

●夫婦で参加の鈴木治さん(34)真弓さん(32)
2年前、友人と参加した妻から誘われて、昨年は夫婦で参加しました。合唱は学校での音楽の授業以来です。本番のステージを目指して、みんなで一つの物を作り上げていくというのがとても新鮮でした。指導して下さる専門家の先生の話をおもしろく、普段の自分の生活では味わえないような体験でした。昨年は歌うの



去年のコンサート（提供写真）

に精一杯でしたが、今年は曲そのものの魅力を感じられるようになり、たくさんの発見があります。

●事務局として12年間運営に携わってきた川崎合唱連盟副会長の高野映子さん（57）

市民手づくりの「第九」は毎年反省会を開き、改善を重ねながらここまでできました。3年前からソリストオーデションも行っています。今年は応募者が多く、初めて4つのパートのソリストがオーデションで決まりました。

最も印象深い舞台は95年に開催された、とどろきアリーナ・オープン記念の「5000人の『第九』」です。最後に4000人の聴衆と共に歌った感激は忘れられません。

いつの日か4団合同のオケで、500人が合唱するという「第九」の舞台が実現できることを願っています。

「第九」コンサートのお知らせ

日 時：12月10日(日)15時半開演（15時開場）

会 場：川崎市教育文化会館ホール

管弦楽：かわさき市民「第九」交響楽団

合 唱：かわさき市民「第九」合唱団

指 揮：末永隆一

独唱者：ソプラノ・日比野景 アルト・左 威
テノール・於保郁夫 バリトン・境信博

入場料：1000円（全席自由）

◆チケットは、11月1日(水)から教育文化会館、各市民館、川崎市民プラザ、中小企業・婦人会館、文化財団ほかで販売。

問い合わせは川崎市文化財団 ☎044(222)8821

川崎「第九」はじめて物語

「かわさき市民『第九』コンサート」が今のような形で行われるようになったのは平成元年から。それ以前、市民の手で「第九」の演奏が行われたことがあるのでしょうか…。川崎の文化に造けいの深い川崎文化協会会長の中西嘉雄さん（72）にお話を伺いました。中西さんは48年の歴史がある「川崎市民交響楽団」創立時からのメンバーでもあります。

川崎で初めて市民の手で「第九」が演奏されたのは、昭和38年11月19日、会場は川崎市民会館（今の川崎市体育館）でした。入場料が150円、聴衆は2000人集まりました。川崎市民交響楽団が創立10周年を記念して、第27回の定期演奏会で、白戸義斌先生の指揮で演奏したのです。「第九」を演奏会で取り上げる話はそれ以前からありましたが、合唱団の編成がうまくいかず、実現しなかったのです。そこで職場のコーラス部や学校、家庭などに呼びかけ合唱経験者を募り、200人を集めて「川崎第九合唱会」を発足させました。ドイツ語の歌詞を暗譜で歌うという厳しさから脱落する人もいましたが、最終的には130人が5月から20回の練習を積んで本番を迎えました。

その後、川崎市民交響楽団は、昭和39年から60年までの間に合唱団を募り、定期演奏会で7回演奏しました。平成元年に「かわさき市民『第九』コンサート」となってからは7回オケを担当しました。

●まなぶ●

参加しませんか
秋から冬の講座いろいろ

◆庭木の手入れ・剪定講習会

日程：11月16日(木) 17日(金) 24日(金)
場所：緑化センター（講座・実習）
生田中学校（体験実習）
費用：3,000円
人数：40人



◆中高年離職者のためのパソコン初級講座
（インターネットも含む）

日程：11月27日(月)～12月1日(金)
場所：KSP（かながわサイエンスパーク）
費用：10,000円（5日間）
人数：40人

◆パソコン入門・初級講座（インターネットも含む）

日程：12月5日(火)～12月7日(木)
場所：新百合21ビル
費用：10,000円（3日間）
人数：20人

応募方法につきましては、電話でお問い合わせ下さい。

インターネット情報スペース
「生涯現役クラブ」からのお知らせ

おかげさまで「生涯現役クラブ」は開設以来、100人を超える方々の会員の登録をいただきました。これからも、皆さんと協力しながら一層楽しい交流の場としていきたいと思っております。

これを機会に、パソコンをお持ちでない方にも参加していただき、より一層ネットワークの輪を広げたいと考えております。インターネット上に情報を載せたり、ネットを通じて交流の輪を広げてみたい方は、スタッフまでFAXでお申込みください。

「趣味の仲間募集」でも「こんな情報を探している」というお尋ねでも何でも結構です。たくさんの方のご利用をお待ちしております（スタッフが不相当と判断した情報に関しては掲載をお断りする場合があります）。

問い合わせ 学習事業室川崎分室
☎044(200)3845/FAX 044(200)3840
メールアドレス info@ageless-net.com

生涯学習ア

●たのしむ●

第15回 川崎市民マラソン大会開催

恒例となりました「川崎市民マラソン」も、今年で15回目を迎えます。2500人の市民ランナーが多摩川河川敷マラソンコースを激走します。市民の皆様方のご声援を心からお待ちしております。日時など次のとおりです。

日 時：11月19日(日)雨天決行
10km の部 9時40分スタート
ハーフマラソンの部 9時55分スタート

スタート：川崎市等々力陸上競技場

コース：●10km の部
等々力陸上競技場～多摩沿線道路～上丸子陸
間～ガス橋折り返し～上丸子陸間～多摩沿線
道路～等々力陸上競技場
●ハーフマラソンの部
等々力陸上競技場～多摩沿線道路～上丸子陸
間～新二子橋折り返し～ガス橋折り返し～上
丸子陸間～多摩沿線道路～等々力陸上競技場

問い合わせ 川崎市体育協会 ☎044(556)5511

●さがす●

お役に立ちます教育人材センター

このセンターは、教育関係者の専門性を生かし、市民のさまざまな学習活動を支援するところです。約500人の人材が、それぞれの専門分野に登録して、皆様のご要望に応えられる態勢にあります。どうぞご活用下さい。

こんなときに役立ちます

- ①学習会・講演会の講師を探しているとき
- ②趣味の会・同好会などの指導者を探しているとき
- ③子どもの教育・学習について相談したいとき

◆「人材ガイド」2000年度版を発行しました

ご希望の方は人材センターへお電話ください。無料で差し上げます。

所在地 〒211-0011中原区下沼部1709-4 教育会館内

問い合わせ 教育人材センター ☎・FAX 044(435)7474

ラ・カルト

●はぐくむ●

つくる喜びを体験する
「川崎市青少年創作センター」ご案内

創作センターでは創作活動を通じて、こどもの情操の涵養を図っています。「青少年教育施設連携事業」・「個人開放事業」・「こども創作クラブ」など、創作活動の機会を広げ、学校や家庭では体験できない異年齢間の交流の場を提供しています。種々の創作プログラムを通し、「ものづくり」の楽しさが味わえます。また、一般成人についても創作学習の場を提供しています。

なお、創作センターでは、創立10周年記念の利用団体作品展示会を11月7日(火)から12日(日)まで行います。



【主な活動内容】

①創作教室

- ◆開催時期：初夏・夏休み前期・夏休み後期・秋・新春・春休みに開催。他に成人向けの教室も開催
- ◆内容：陶芸・版画・七宝焼・絵画・料理など

②こども創作クラブ

9月スタートで1月まで、全10回のプログラム

③青少年教育施設連携事業

仲間づくりからはじまり、各施設で体験学習をする

④1日体験デー

「七夕まつり」・「親子ふれあい教室」など

【主な施設】

料理室・和室・陶芸室・美術工芸室・会議室

【交通案内】

小田急線生田駅徒歩10分

問い合わせ 川崎市青少年創作センター

☎044(911)1510/FAX 044(934)3880

〒214-0034 川崎市多摩区三田2-3330-1

ハート & ハーモニー Vol.6

健康スポーツとはなにか？

世の中に「健康食品」ほど紛^{まが}い物が多いものはないと思いますが、うっかり聞き逃してしまいそうな似たものに、「健康マラソン(ランニング)」も入れて良いと考えています。果たして「健康マラソン」は、名が体を表しているのでしょうか？

大まじめに「健康マラソン」を主催している人から叱られるかも知れませんが、ほとんどの「健康マラソン」は、ただの「結果オーライ」イベントに過ぎません。つまり、「大した事故もなく、大勢の人が元気に汗を流して頑張ったのだから、このイベントは健康づくりに役立ったに違いない」と自負している人達です。事故はめったに起こるものではないし、健康度がアップすることなど目に見えるように出来る訳もないので、余計な心配や配慮は一切抜きにしても、結果は何も変わらないということです。しかし「ヨーイ・ドン」でスタートして、速く帰ってきた順に賞品を渡しているよう^{おまじやく}で、「どこが健康なの？」と聞きたくするのは天の邪鬼でしょうか？

もちろん申込時の健康情報提供、安全なコース設定、準備体操の実施、適切な給水・給食、目配りの利いたエイド・救護、ゴール後のアメニティ、悪天候への対応など安全、快適、健康的なイベントを実行するための配慮には多くのノウハウがあり、幾つかの大会は合格点を付けられる水準にあります。が、これに加えて「健康づくりへの^{ひとあじ}一味-Something Healthy」が、意図されていないと「健康マラソン」を名乗る資格はないのではないのでしょうか？

例えば「申告タイムレース」と言って、スタート前に決めたタイムに近い順で表彰するなど、頑張り過ぎの危険を遠ざける仕組みを作るなどです。自分の最大能力に「挑戦」することが不健康とは言い切りませんが、それができるのは少し厳しい身体・安全面の条件を満たした上での話です。

ランニングに限らず多くのスポーツが、競技としてではなく健康づくりの手段として、「健康に貢献するスポーツ」となれる要素を含んでいます。しかし、同時に含まれている挑戦性や競争性を、上手に遠ざける工夫をしなければ、安心して健康づくりに勧めるわけにはいきません。これは意識とルールの両面を変えていく作業になります。スポーツの楽しみを損なわないで、競技スポーツが健康スポーツに変身できるかどうかは、愛好者の腕の見せ所/頭の使い所なのです。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

エアロビクスで体を鍛える
「リズム体操愛好会」

軽快な音楽にのって体を動かしているのは「リズム体操愛好会」(笠井芳子代表、会員14人)のメンバーです。「マイペースで楽しく続ける」をモットーに、ストレッチやエアロビクスを組み合わせた体操で体力作りに励んでいます。

指導するのは健康運動指導士の増子俊逸さん。「肩回しをしましょう。手を上げたとき、手のひらを外側に向けると、後ろにスムーズに回ります」とアドバイス。

会員は「ワンツー、ワンツー」の掛け声に合わせて、さまざまなエクササイズで全身を動かしていました。開始から15分、どの人の顔にも汗が光っていました。

同会は今年の4月にできたばかり。幸スポーツセンター主催の「リズム体操」講座の受講者で発足しました。

笠井代表は「明るく楽しい先生に、ソフトにハードにしごかれています。腰痛や肩こり緩和のストレッチも教えてもらえるので役に立ちます」と笑顔。

会員の声「ここで日ごろの運動不足を解消しています。心地よい汗を流し、心も体もすっきり。以前に比べ体の調子がよくなりました」。

- ◆活動日：毎週水曜 14時から
- ◆場 所：幸スポーツセンター
- ◆連絡先：☎(511) 6579の笠井さん

世界中の人と友達に
「日本語ボランティア」

「日本語ボランティア」(登録者88人)は、川崎市国際交流協会に登録している日本語講師の方々です。協会が設立された1989年から、韓国、中国、タイ、中南米などさまざまな国から来た人に、平日の午前中や夜間に日本語を教えています。

ボランティアのメンバーは、「日本語を教えたくて講師養成コースに通った」「海外で生活していた時に子供が現地の人に言葉を教えてもらいとてもよかったので、帰国したら自分もやってみようと思った」という人がほとんどです。受講者は、午前コースは主婦、夜間コースは勤め人が多く、「話す・聴く・読む・書く」の習得に努めているそうです。

約130人の受講生は13クラスに分けられ、きめ細かな指導を受けています。テキストに沿った授業だけではなく、スーパーのチラシを利用した会話の練習などがとても好評です。受講者の一人は「主人の親や親せきの人と話せるようになりたい」と動機を語っていました。

ボランティアの声「準備は大変ですが、教えた言葉を生徒が使えるようになったときのうれしさは格別です」。

- ◆活動日：火曜・金曜(午前)、水曜(夜間)
- ◆場 所：国際交流センター
- ◆連絡先：☎(435) 7000の国際交流センター



情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

- ①わくわく実験ショー～未来をひらくデジタルの世界
- ②ガリレオ工房科学実験教室～火おこし、圧気発火
- ①は11月11日(土) ②は25日(土)、東芝科学館。時間は①②共10時と13時半。費用は①無料②300円。要予約。☎(549) 2200。
- 総合自治会館作品展
- 11月18日(土)・19日(日)10時～17時。同館利用団体の手編み、書道他の展示▽大正琴、ケーナ他の演奏。☎(733)1232。

- 天体観望会
- 11月18日(土)18時半から。場所は川崎授産学園。土星や冬の星座を観望。雨天時は室内でスライド。無料。当日直接。小学生以下は保護者同伴。☎(954)5011。
- ふれあいダンスの集い
- 11月26日(日)15時から、宮前区の白幡台小学校で。出演は東京キューバンボーイズ・ジュニア。1000円。駐車場なし。当日直接。☎(977)8600の白幡台こども文化センター。

●混声合唱団南生田コーラス創立20周年記念演奏会

11月26日(日)14時開演。会場は多摩市民館。混声合唱組曲「はじめての町」他。無料。☎(977)8763の芝村さん。

●人間国宝 茂山千作=写真=の狂言「素袍落」

平成13年1月23日(火)18時半開演。会場は川崎能楽堂。出演は茂山千作、茂山千三郎、茂山正邦他。全席自由3500円。チケット発売中。☎(222)8821の川崎市文化財団。



●川崎市民交響楽団第152回定期演奏会

11月25日(土)15時開演。会場は川崎市教育文化会館。指揮は藤本潤。レスピーギ「リュートの為の古風な舞曲とアリア」他。全席自由500円。☎045(753)8578の森さん。

●麻生フィルハーモニー管弦楽団第32回定期演奏会

11月5日(日)14時半開演、麻生文化センターホール。指揮は河合尚市。曲目はブラームス「交響曲第2番」他。全席自由1000円。☎(955)1953の横須賀さん。

●玉川大学演奏会「2台のオルガンを聴く」

11月5日(日)14時開演、同学園礼拝堂で。曲目はヴィエルス「アラベスク」他。演奏は酒井多賀志・東京純心女子大教授。定員200人。料金は一般3000円、中学生以下2500円。☎042(739)8895の同大継続学習センター。

●クリスマス親子劇場

12月3日(日)10時半と13時半。場所は会館とどろき。出演は人形劇団ひとみ座。手話と語りによる人形劇「一寸法師」と「アツとしてアートして」。3才以上700円。定員各回300人。☎11月20日(月)から☎(733)3333。

●講演会～お父さんお母さんありのままの私を受け止めて！

12月2日(土)10時から、プラザ橋。講師はフリースペース「たまりば」代表の西野博之さん。先着30人。2歳以上の有料保育あり。☎11月15日(水)から☎(788)1531。

●ストレッチ健康体操教室

11月11日～25日の毎土曜18時から、全3回。場所はサンライフ川崎。先着40人。受講料2000円。☎(344)1777。

●押し花ミニ講座

11月22日～平成13年1月17日の水曜13時半から、全4回。場所は川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)。葉書やクリスマスカードをつくる。講師は神藤博美さん。教材費5200円。☎11月10日(金)までに☎(813)0808。

●講演会「7カ国語で話そう」

11月24日(金)10時半と25日(土)13時半。場所は川崎駅前BE8階カメラホール。「ことばと人間」について学ぶ。無料。託児あり。☎0120(557)761のヒッポファミリークラブ。

●公開講座～はじめてのジャズボーカルを楽しむ

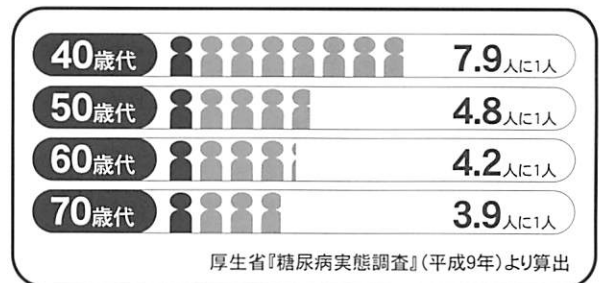
11月20日(月)13時半と19時。場所は登戸ドレスメーカー学院。発声、リズムのとり方、表現方法を学ぶ。講師は太田昌宏さん。定員各回15人。受講料1000円。☎午前中に☎(911)2221。

各区で「糖尿病予防教室」を開催

高齢社会が進む中、生きがいのある心豊かな日々を送るためには、健康が大切です。国では、寝たきりにならない状態で生活できる期間「健康寿命」の延伸を目標に「健康日本21」を国民的運動として推進し、生活習慣病などの疾病予防を目指しています。

寝たきりになる一番の原因は、脳血管障害ですが、この障害を起こしやすい病気の中に糖尿病があげられます。今年6月に発表された総理府の調査では、9割の人が「糖尿病は怖い病気」と答えている反面、実際に食事や運動に気をつけている人は3割、という結果が出ています。

糖尿病が強く疑われる人とその予備軍



健康寿命を延ばすためには、脳血管障害を起こさない対策が重要であり、糖尿病予防が重要です。そのようなことから、川崎市では11月から平成13年2月にかけて、各区保健所で「糖尿病予防教室」を実施し、生活習慣の改善をお手伝いします。詳細は各区保健所健康課までお問い合わせ下さい。

- ・川崎区 ☎(201)3212
- ・幸区 ☎(522)7414
- ・中原区 ☎(744)3263
- ・高津区 ☎(861)3313
- ・宮前区 ☎(856)3260
- ・多摩区 ☎(935)3296
- ・麻生区 ☎(965)5159

●陰翳礼讃 フランスの現代写真

11月3日(金)～12月17日(日)、川崎市民ミュージアム。フランスを中心に活動する写真家30人の作品を展示。一般900円、小～大生400円。☎(754)4500。

●「裸婦と舞妓」展

12月3日(日)まで、中村正義の美術館。一般500円、小中生200円。月火休館。☎(953)4936。

●福士岩夫写真展「花八景」

11月25日(土)～12月30日(土)。場所はスナック喫茶琴。☎(544)0507。

●ベートーヴェン「交響曲第9番合唱付」合唱団員募集

演奏会は平成13年2月4日(日)に麻生市民館で行う。練習は11月6日～27日の毎月曜19時から青葉幼稚園(新百合ヶ丘駅下車)で。12月からの練習は毎土曜18時半から。参加費は一般12000円、学生8000円。☎(986)9144、麻生合唱団事務局の鈴木さん。

暮らし百景 ステージ・アップ 歌壇

高津短歌会

晩夏と言えは挽歌と洒落て苦笑せる手術後の友の黄
 ばみたる頬 青木 鎮夫
 朝顔の花の奥よりかすかなる羽音きこえて蜂が蜜吸
 う 青木千枝子
 銀色のうろこ雲映ゆる青空に赤き風船吸い込まれゆ
 く 伊藤 明美
 だしを忘れたミソ汁のごとし味うすき日常なれど平
 穩である 大沢 公子
 雪積みて見馴れし庭の新鮮さ変身願望ふいに湧きた
 り 末松 牧子
 夕焼けに真紅の雲の流れ行く空果つる所が浄土なら
 むか 高橋 正蔵
 鎌休めたずねし方をさす指にやさしさにじむ老いに
 夕光 谷村 安之
 時折は自由奔放に生きたしと友人さそひて暖簾をく
 ぐる 平野とみ子
 西陽さすカリンの一つ色づきてほのか香るを明日漬
 けてみる 松井 君代
 たくましく生ふる夏草刈りをれば主張持ちたる夏の
 匂ひす 水口 正男
 戦時下を孫に語らん「昔ね」と語り部のような話し
 方して 宮田 稔子
 道端の松葉わたんが地を這えり踏まれても花の色販
 いて 山口基恵子
 吟醸酒グラスも冷やしウニ添えて今宵は愚痴など聞
 いてもらわな 米山 文恵

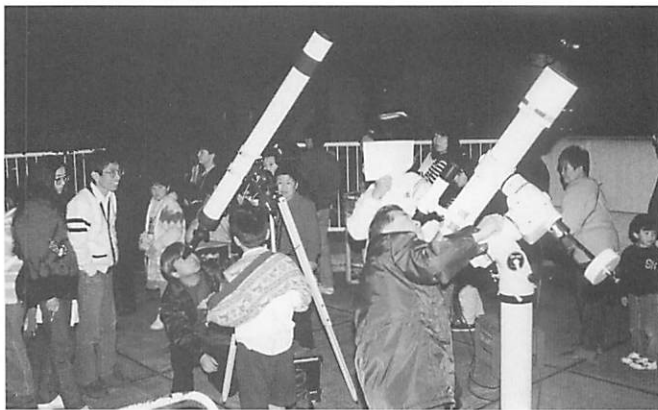
※高津短歌会は三年前に発足しました。
 山本かね子先生のご指導を受けて月に
 一度開いています。 代表 米山文恵

まち・ひと・多面体

宇宙のロマンを市民に紹介する

「川崎天文同好会」

「川崎天文同好会」(箕輪敏行代表・会員100人)は、天体観測会や講演などの活動を通して、星の魅力や宇宙の神秘を市民に紹介しています。



活動のひとつ「市民天体観望会」=写真=は、麻生区細山の障害者複合施設「川崎授産学園」で年4回行っています。同園4階天体観測室(ドーム)には箕輪代表が寄付した望遠鏡が設置されています。季節の星座の見ど

ころを聞きながら望遠鏡で星を眺めるこの会には、毎回80人前後の人が参加し好評を得ています。学園では、車いすの人でも望遠鏡を自分で操作ができるよう工夫されています。

「川崎天文同好会」は、星の魅力に惹かれた市内の有志が集まって、1953年5月に35人で発足しました。47年の歴史を持つ同会の会員は多士済済。天文学の第一人者で前国立天文台長の小平桂一さんも名を連ねています。小平さんは、口径8メートルの世界一の天体望遠鏡を昨年、ハワイ島のマウナ・ケア山頂(4205メートル)に設けた「すばる計画」の総括責任者として知られています。

今までの活動の中で忘れられないのが、1985年の「ハレー彗星観望会」。このときは、口径84センチの望遠鏡を設置して参加者を募ったところ、定員1000人の5倍もの方が県内外から殺到。76年に一度の天体ショーに寄せる人々のフィーバーぶりに驚いたそうです。

箕輪代表は「授産学園のドームは、宇宙のロマンを紹介すると共に、障害者と地域の人との交流の場になっています」と話しています。

問い合わせは☎044(954)5011の川崎授産学園

◆ステージ・アップ編集事務所が一時移転しました◆

ご意見・ご感想、学習・文化情報はこちらにお寄せ下さい。
 〒211-0052 中原区等々力1-3 とどろきアリーナ内
 ☎044(798)5311(直通) / FAX 044(798)5005